

## 第V部 保育園・幼稚園と小学校との連携

### 1 滑らかなつながりを目指して

保育園や幼稚園での幼児教育を通して、子ども達は、遊びを中心に文字言語や数への興味・関心を高め、人間関係づくりなどさまざまなことを学んでいきます。保育園や幼稚園は、遊びを中心とした生活の中で学んでいく場所といえます。子ども達からみると十分に遊び込む中で多くを自然に学んでいくこととなります。

では、小学校はどうでしょうか。小学校では、子ども達は国語や算数などの毎時間の授業を通して各教科の内容を学び、学んだことを生活の中で生かしていこうとするようになります。授業を中心として、学んだことを生活に生かしていくというように、保育園や幼稚園のときとはスタイルが変化していきます。

このことは、子ども達の発達に合わせて、具体から抽象へと変化していくと捉えるとよいと考えます。小学校就学前の子ども達でさえ、保育園・幼稚園は遊ぶところ、小学校は勉強するところという意識をもっています。幼児教育と小学校教育は、このスタイルが違うために異質に見えてしまいがちですが、「豊かな人間の育成」を目指すという意味においてはまったく同じ方向を向いています。

小学校に入学させるに当たって、保護者の方は、このスタイルの変化にわが子が適応できるか不安になられる場合も多いと考えます。今までの遊び中心の生活から、45分の授業が4・5時間続く生活に変わって大丈夫か、先生の話聞きけるのか、字が上手に書けるのか、きちんと椅子に座ってられるのか、トイレは大丈夫かなど、細かいことがたくさん頭に浮かぶかもしれません。確かに、入学してすぐに、いきなり子ども達を小学校での平常の生活に入れてしまうのには無理があります。子ども達が無理なく自然に小学校生活に親しんでいけるように、浦安市の保育園・幼稚園、小学校では、子どもの視点に立って、幼児教育から小学校教育へと滑らかにつなげることを意識した取り組みを行っています。

ここでは、まず、具体的な事例を通して幼児教育と小学校教育それぞれの独自性を示すとともに、子どもの学びがどのようにつながっていくのかを明らかにします。次に、子どもの入学をひかえ多くの保護者の方が心配される事項について、Q&Aのスタイルでお答えし、不安が解消されるようにしました。

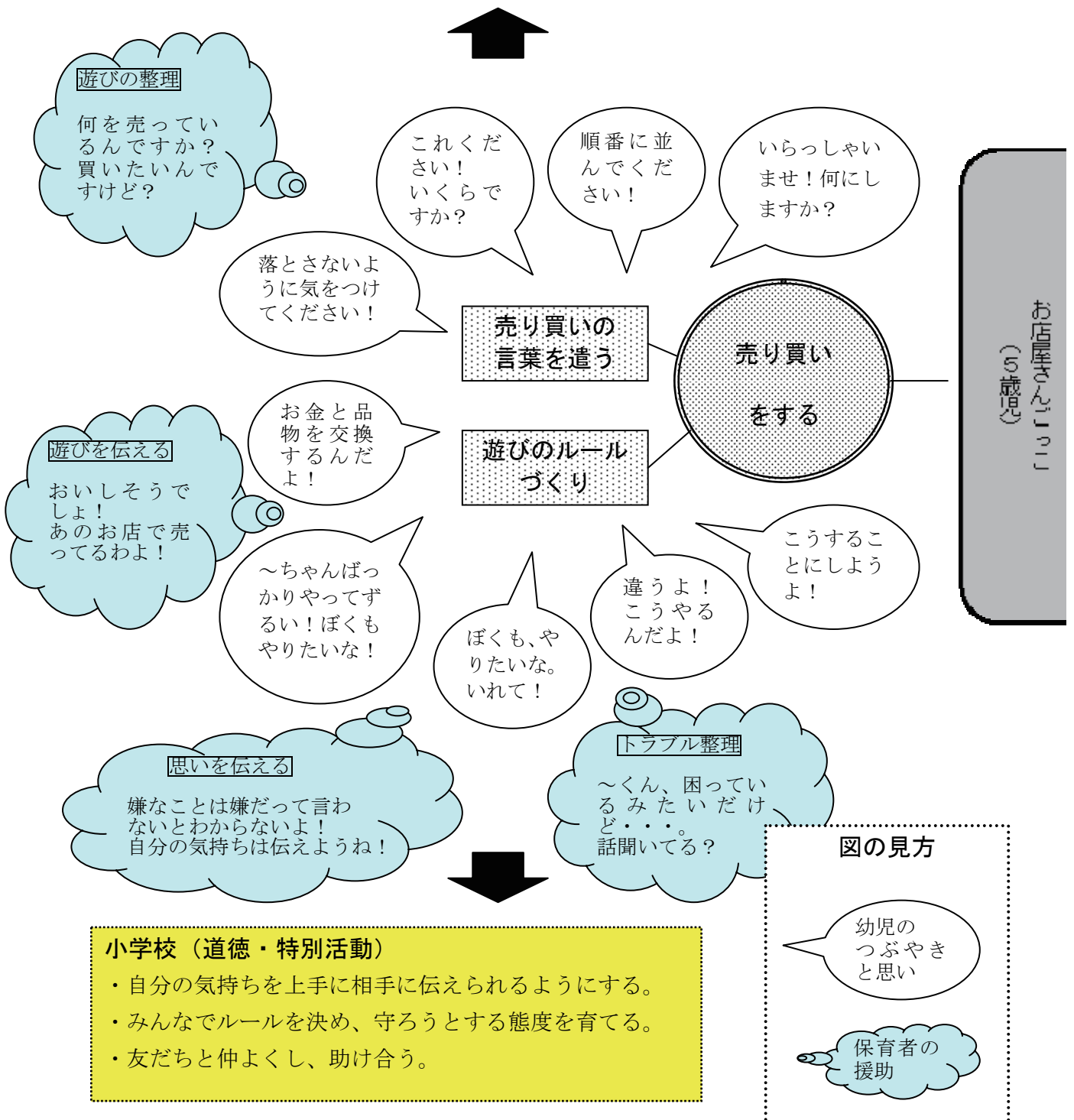
保護者の方には、この時期の子ども達の発達や課題について受け止めていただき、幼児教育から小学校教育への滑らかなつながりの実現に関し、園や小学校と一緒に考え、対応していただければ幸いです。

## 2 保育園・幼稚園から小学校への学びのつながり

(1) 具体的な事例 ※保育園・幼稚園の遊びを通した学びが小学校の学習につながります。

### 小学校（国語・道徳・算数）

- ・相手に応じて、話す事柄を順序を立て、丁寧な言葉との違いに気を付けて話すことができるようにする。
- ・ものの個数を数えることなどの活動を通して、数の意味について理解し、数を用いることができるようにする。

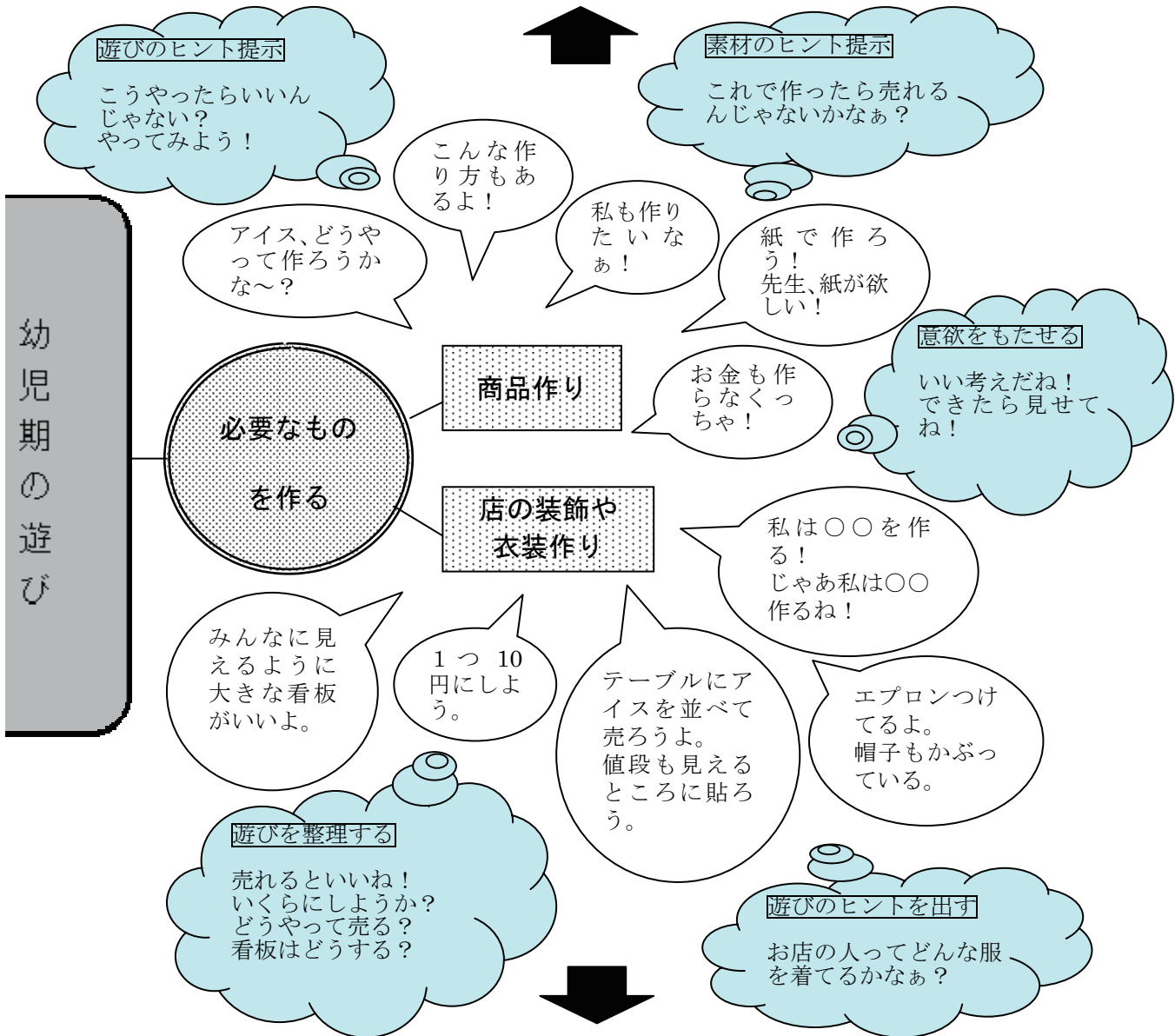


### 小学校（道徳・特別活動）

- ・自分の気持ちを上手に相手に伝えられるようにする。
- ・みんなでルールを決め、守ろうとする態度を育てる。
- ・友だちと仲よくし、助け合う。

### 小学校（図工・生活科）

- ・造形活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにする。
- ・基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う。



### 小学校（生活科・社会科）

- ・自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。

## (2) 保育者・教師のかかわり

保育者・教師は、それぞれの発達に応じた「ねらい」を達成するために、援助・支援をしています。



保育園・幼稚園では・・・

ねらい『友達と一緒に役になりきって、ごっこ遊びを楽しむことができる』

保育者：お店の人ってどんな服をきているのかな？

幼 児：パン屋さんはエプロンをつけてるよ。

帽子もかぶってるよ。

保育者：みんなも、エプロンと帽子を作って、

お店や屋さんになろうよ。

幼 児：つくりたい！どうやって作ったらいいのかな？

保育者が子どもの興味・関心を引くような声かけをし、よりなりきって遊びが展開できるようにしていきます。

この経験を生かして

小学校では・・・



ねらい『自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。』

学区探検の後

先 生：お店の人の秘密を見つけられたかな？

どんな秘密がありましたか？

児童1：お店の人はエプロンを付けている人が多かった。

児童2：ケーキにごみや髪の毛が入らないようにエプロンや帽子を着けているんだよ。

児童3：おいしくつくるだけでなく、衛生面にも気をつけなくてはいけないんだね。

児童4：ぼくたちの給食のエプロンと同じ役目があるね。

先 生：よく調べているね。他に、エプロンの秘密を調べた人はいませんか？

児童5：八百屋さんのエプロンはポケットが別れていて、お金が分けて入っているんだよ。おつりがすぐに出せるからだって。

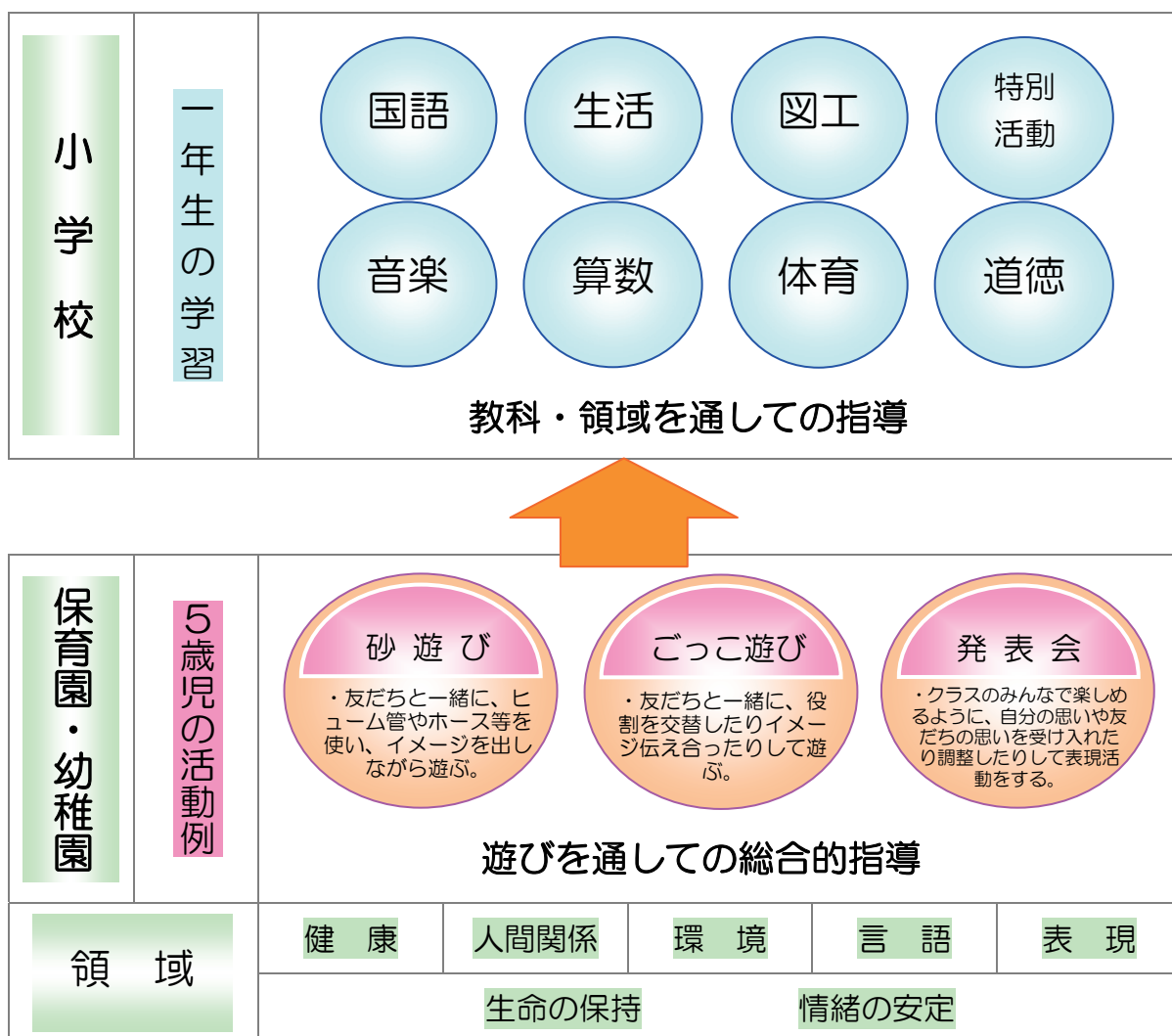
児童6：お客様を待たせないように工夫しているんだね。

先 生：エプロンの秘密は、お店の人の工夫だったのですね。他に秘密を見つけた人はいませんか？

探検をした時の子どもの疑問・驚き等から、学習問題をつくり、子ども同士の話し合いから、解決していきます。

(3) 保育園・幼稚園・小学校の連携

～幼児期の遊びが小学校の学びにつながっている～



### 3 もうすぐ、入学！でも、ちょっと心配なことが・・・Q&A

<保育園・幼稚園からつながる、小学校の「生活のこと」「学習のこと」>

保護者の皆さんの、質問にお答えします！



Q1：保育園では、お昼寝の時間があるけれど学校で、眠くなったりしないでしょうか。

A：お子さんによっては、眠くなることもあるかもしれませんがね。保育園・幼稚園・小学校でも、子どもたちの「生活のリズム」が、突然変わることはないように配慮しています。

#### 保育園・幼稚園から

子どもたちの生活リズムをなるべく崩さないように、5歳児の3学期頃から、お昼寝は、少しずつ減らしていきます。（はじめは週の中ほどだけでなくし、疲れの出やすい月曜日や金曜日はお昼寝するなど工夫しています。）また、無理をせず、疲れたり眠くなったりした子には、体を休められる場や時間を設定しています。保育園で、お昼寝がなくなる頃は、ご家庭でも睡眠を十分にとれるようにしてあげてください。1日の生活リズムをきちんと作れるよう、小学校入学に向けて、規則正しい生活を心がけましょう。

#### 小学校から

入学後10日間程は、給食がありません。子ども達は午前中には下校になります。入学当初は子ども達も緊張しており、疲れをと思いますので、しばらくは早帰りとなります。小学校でも、子ども達が徐々に生活に慣れていくように時程を工夫しています。家に帰ると昼寝をしてしまう子もいるようですが、ゆっくり休ませてあげてください。4月20日過ぎから5時間授業が始まりますが、すぐにゴールデンウィークになりますので、約1ヶ月かけて小学校に体を慣らしていくこととなります。



Q2：今まで、親が送り迎えをしていたのに、  
学校まで一人で歩いて行けるかしら？

A：一人で歩いていけますよ。大切なことは、子どもたちが、  
自分で安全への意識をもてるようになることです。

### 保育園・幼稚園から

保育園や幼稚園では、日々の散歩や園外保育の中で、道の歩き方や信号の渡り方などを繰り返し子どもたちに伝え、確認しています。こうした積み重ねが、交通ルールをきちんと守るといふ、一人一人の意識につながっていくのです。

他にも、ご心配であれば、入学前に小学校までの道順を散歩してみることも、子どもたちの安心感や期待感につながるでしょう。（保育園や幼稚園では、小学校への期待が膨らみ始める2月頃、園の近隣の一枚に、小学校見学に行きます。）

日々の生活の中で、車・自転車に頼らずに、歩く習慣をつけておくことが大切です。

保育園や幼稚園では、不審者対応として「いかのおすし」（ついていかない・知らない車に乗らない・大声を出す・すぐ逃げる・知らせる）の約束を伝え、自分で自分の身を守るということについても伝えています。

### 小学校から

新しいかばんをもったの登校。子ども達はわくわくドキドキ。保護者の皆様は安全に登校できるか不安がいっぱい。こんな様子が想像できます。小学校では、入学当初1～2週間を目安に、登校安全指導や、教師が引率しての集団下校を積極的に行っています。通学路や安全な登下校の仕方を覚える援助・指導として行っています。多くの目で子ども達の安全を守ろうとしています。

入学当初は、保護者の方が一緒に登校するのもよいと思います。





Q3：給食が、時間内に食べ終わるかどうか心配です。

A：時間内に食べ終わるように、いろいろな配慮をしています。  
まずは『楽しく食事をする』を大切に考えています。

### 保育園・幼稚園から

保育園や幼稚園でも、5歳児の3学期になると『小学校に行ったら給食だね』という期待感を大切にしながら「20分～30分の間で、食べてみよう！」と、一定の時間の中で食べられるようにしています。

この頃になると、嫌いなものにも挑戦したり、当番活動に張り切って取り組んだりする姿が見られます。この時期の子どもたちの意欲を大切にしながら、箸の持ち方を確認したり、自分の給食を自分の席までトレーで運ぶ練習をしたり、お茶を自分で注いだりして、小学校の生活（給食の配膳など）につなげていけるようにしています。

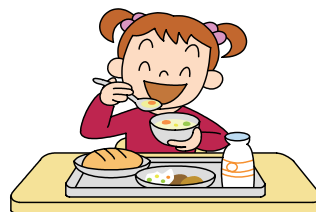
お家でも、家族で意識して食事のマナー（席を立ったりしない、あそびながら食べたりしない）などを確認し、身に付けていけるといいですね。

### 小学校から

給食の時間は4時間目終了後に始まりますが、初めのうちは、4時間目の後半から給食の準備を始めます。食べる時間を30分は確保し、ゆっくり食事ができるように時間の使い方を工夫していきますので安心してください。

子ども達にとって給食は楽しいものであってほしいです。小学校でも楽しく食べる雰囲気作りを大切にしています。

また、給食の準備や片付け方、食事のマナーなども繰り返し丁寧に指導していきます。学校によっては、給食の準備を6年生が手伝ってくれるところもあります。





Q4：保育園から入学する子どもたちと、幼稚園から入学する子どもたちとはすぐに仲良くなれるのかしら？

A：子どもたちは、順応性があるので、あまり心配しないで大丈夫です。  
保育園・幼稚園と同様、小学校でも「友達との関係作り」を大切に考え、丁寧にかかわっていきます。

### 保育園・幼稚園から

保育園や幼稚園では、遊びを通して、友達の良さに気づいたり、認め合ったりする気持ちを育てています。教師も、子どもたちが『友達と一緒にいるって楽しいね』という気持ちを感じて欲しいと、友達と触れ合う機会や一人一人の良さを、回りの子どもたちに伝える機会を意識的にもっています。

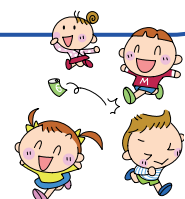
また、クラスや年齢を越えたかかわりも意図的・計画的にもち、人を大切に思う気持ちを育てています。そうして、入学後、新しい友達に出会うことを、楽しみにする気持ちにつなげています。

もし、なじめない、お友達が出来ないときには、ゆったりと子どもの気持ちを受け止めてあげましょう。また、保護者の方も友達の名前を覚えてお子さんとの話題を共有できると良いですね。

### 小学校から

小学校には、子ども達がいろいろな園から入学してきます。入学後、学級担任は子ども達とふれあう時間を多く取るように心がけ、安定した人間関係を作っていきます。子ども達同士も始めは緊張しているかもしれませんが、担任が仲間関係を意識して作っていきます。楽しく自己紹介を行ったり、友達とふれあう学級活動を行ったり、1年生を迎える会に参加したりと、自然に友達関係が広がるように援助していきます。

保護者の方々も早く仲良くなれるように、懇談会などには積極的に参加していただくとありがたいです。





Q5：まだ、ひらがなが書けません。入学前には、どこまでできていることが必要ですか？

A：文字への興味・関心が高まっているとよいですね。文字は、ゆっくりと丁寧に学習していきます。

### 保育園・幼稚園から

保育園や幼稚園では、子どもたちが、文字への興味や関心をもてるように、生活や遊びの中で文字に触れる環境を整えています。(一日の流れを黒板に書いたり、当番表に名前を書いたり、お手紙ごっこをしたりする中で、「知りたい」「読みたい」「どうやって書くのかな」という気持ちから、文字への興味・関心を膨らませていけるようにしています。)

また、クレヨンから徐々に色鉛筆、鉛筆に触れる機会を多くし、○や△などのいろいろな形を描くことを通して、指先や手首の動き、力の加減を身につけるようにしています。

### 小学校から

入学してすぐには、文字や数字を書いたりはしませんので大丈夫です。まず、鉛筆の持ち方を指導し、線を引く活動などを行います。4月は特にゆっくりと学習が進みます。ひらがなは、一回の国語の時間に1, 2文字ずつ練習していきます。一つ一つ、とめ、はね、はらいに気をつけ、文字の形を整えて書けるよう丁寧に指導していきます。「い」を習ったら、「い」ではじまる言葉をみんなでたくさん集めたりして文字への関心を高めていきます。ひらがなは、1学期間かけて学習していきます。

また、算数でも、数字を正しく書くことを練習します。書くことが楽しく役立つことを実感できるよう指導していきます。





Q6：まだ、時計が読めません。困ることはあるでしょうか？

A：困ることはありませんよ。大切なのは、子どもたちが、時間を意識して生活していくことです。

### 保育園・幼稚園から

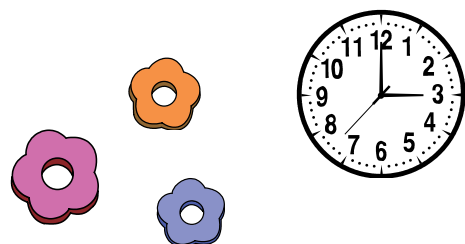
「長い針がここにきたら片付けにしましょう」などと声をかけることで、「そろそろ片付けだな」「次は、〇〇だ」など、時間を意識しながら見通しをもって生活していけるようにしています。

ご家庭でも、「起きる時間」「食事の時間」「お風呂に入る時間」「寝る時間」など区切りのよい時間を伝えていくと興味とともに自然と覚えていきます。

### 小学校から

時計の読み方は、1年生の終わり頃に算数の時間に学習します。特に入学当初は、長い針がどこにきたらどうするなどというように、具体的に分かりやすく話していきますので、時計が読めなくてもそれほど困ることはありません。学校の日常生活の中で読めるようになっていく子もありますが、個人差があります。

しかし、時計は読めなくても時間を意識した生活ができるように、場に応じて言葉かけをしていきます。時期がきましたら、算数の時間にしっかりと指導していきますので大丈夫です。





Q7：45分間の授業中、ずっと座っていら  
れるかどうか心配です。

A：子どもたちの集中の様子に合わせて、時間を配分し、い  
ろいろな活動を進めていきます。

### 保育園・幼稚園から

保育園・幼稚園では、3学期になると、椅子に座って、絵本を見たり保育者の話を聞いたりする時間を意図的に取り入れていきます。絵本も、物語絵本など、少し長めのものを楽しむ機会をもちます。「上手に聞いているね」など、きちんと聞こうとする姿勢を受け止め、認めながら、話す相手の顔をきちんと見るなど、人の話を聞く時の態度を身につけていくことも大切にしています。

### 小学校から

小学校では1時間が45分の単位になっていますが、入学してしばらくは20分程度の学習のまとまりで授業を構成していくように工夫しています。授業の内容も、自分の名前の発表・お道具箱の整理の仕方・あいさつの仕方・手洗い場やトイレの使い方など、学校生活に必要なことを学ぶ時間にしています。

また、読み聞かせや歌など、保育園や幼稚園の生活の一部であった活動も取り入れています。子どもたちの集中力が持続するように、45分の単位にとらわれずに、学級担任の裁量で活動が行われていきます。





Q8：連絡ノートや送迎がなくなって、子どもの様子がわからなくなってしまうのではないかと心配です。

A：おたよりや連絡帳などを使って、お子さんの様子を伝えていきます。小学校でも、保護者の皆さんとの信頼関係を大切にしたいと考えています。

#### 保育園・幼稚園から

保育園・幼稚園では、保育者・教師が、保護者の方と日々連絡を取り合う機会がとて多いですね。特に、小さい子どもたちにとっては、園と家庭とが、互いに子どもの姿を共有し合うことは大切なことです。小学校に入ると、直接先生方と話す機会は減りますが、保護者の方と教師が、共に子どものよりよい成長を考えていく姿勢は、変わらないと思います。

#### 小学校から

小学校の学級担任も保護者の方との信頼関係を大切に考えています。些細なことでも相談できる体制を作っています。連絡帳や電話などでもお子さんの様子について伝え合うことができます。また、毎月学年便りが子どもを通してご家庭に配付されます。1年生の学年便りは、4月は数枚発行することが普通です。毎日の持ち物、学習予定、下校時刻などが1～2週間単位で、細かく記載されています。

まだまだ、学校でのできごとを家庭で、上手に話せない子どももいると思われます。学校と家庭との連携が大切ですので、気軽に学級担任とお話してください。

